

【高次脳機能障害者の就労に役立つ視聴覚教材の開発】

目 次

第1章 高次脳機能障害者の就労に役立つ視聴覚教材

- 1 開発の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 用語の定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 視聴覚教材の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 視聴覚教材の説明

- 1 視聴覚教材の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 視聴覚教材活用にあたっての留意事項・・・・・・・・・・・・ 5

第3章 各視聴覚教材の内容

- 1 高次脳機能障害とは（1st教材 1）・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2 記憶の機能（2nd教材 2-1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 注意の機能（2nd教材 2-2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 4 感情のマネジメント（2nd教材 2-3）・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 5 メモの取り方（3rd教材 3-1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 6 対処手段（3rd教材 3-2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 7 疲労（3rd教材 3-3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- 8 睡眠（3rd教材 3-4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

第4章 視聴覚教材の実際の使い方（事例）

- 1 高次脳機能障害に対する自己理解を促進できた事例・・・・ 46
- 2 メモを活用できるようになった事例・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 3 注意の機能の特性から作業のやり方について気づきが得られた事例・・・・ 48
- 4 疲労のマネジメントを取り入れられた事例・・・・・・・・・・・・ 49
- 5 複数人で同時に視聴しグループワークを行った事例・・・・ 50

第5章 まとめと今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

- 参考文献等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53